

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

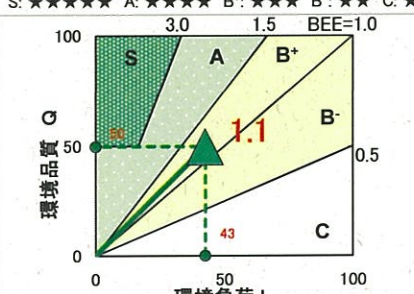
■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	(仮称)大久保病院新築工事	階数	地上3F	
建設地	埼玉県加須市	構造	RC造	
用途地域	防火指定なし、市街化調整区域	平均居住人員	200人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2022年1月 予定	評価の実施日	2020年12月24日	
敷地面積	7,932 m ²	作成者	株式会社シーケンス	
延床面積	4,751 m ²	確認日	2020年12月24日	
		確認者	株式会社シーケンス	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★☆☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★

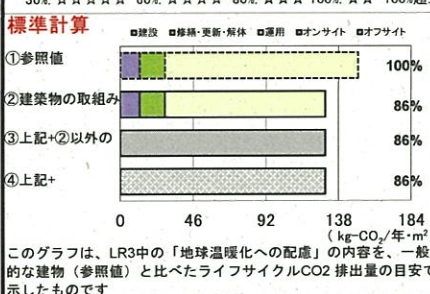


環境品質 (縦軸) vs 環境負荷 L (横軸)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆☆



① 参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

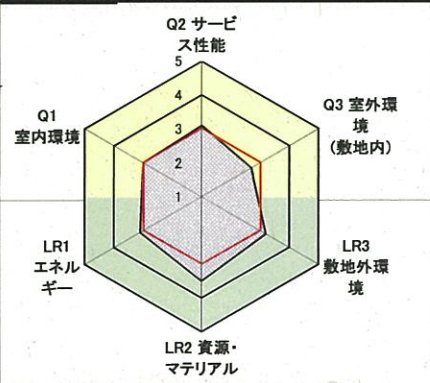
② 建築物の取組み 86% (138 kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の 86% (138 kg-CO₂/年・m²)

④ 上記+ 86% (138 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

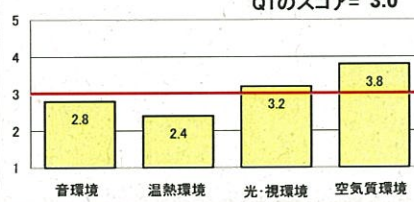


Q1 室内環境: 3.0
Q2 サービス性能: 3.1
Q3 室外環境(敷地内): 2.7
LR1 エネルギー: 3.1
LR2 資源・マテリアル: 3.5
LR3 敷地外環境: 3.2

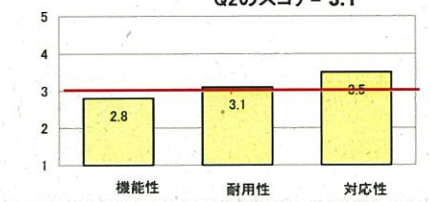
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

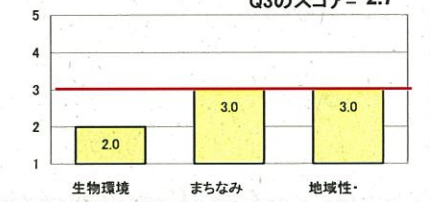
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0



Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.1




Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.7




LR のスコア = 3.2


LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.1



LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.5



LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.2



3 設計上の配慮事項	
<p>総合</p> <p>使用する建材に配慮し、快適な室内空間の創出を図るとともに、ライフサイクルCO₂排出率を抑えて、地球温暖化の防止に努める様な計画としている。</p>	<p>その他</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>断熱材の強化により外皮性能を上げるなど温熱環境に配慮している。昼光率を高めに設定し、光・視環境に配慮している。F☆☆☆☆建材を全面的に採用し、全館禁煙とするなど空気質環境にも十分配慮している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>階高を高く設定し、壁長さ比率を小さくすることにより空間にゆとりをもたせている。内外装共防汚性に配慮した材料を使用するなど維持管理に配慮している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>自動水栓などの省水型機器を用いるなど水資源を保護している。ノンフロン断熱材を採用するなど汚染物質含有材料の使用を回避している。可動間仕切りを採用するなど部材の再利用可能性向上への取り組みをしている。</p>
	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>空地率を大きくし、また、中高木を植栽することにより敷地内温熱環境の向上に努めている。緑地を設けることにより良好な景観を形成している。</p>
	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。適切な量の駐輪場・駐車場を確保し利便性に配慮、管理用車両・荷捌き車両の駐車施設を確保するなど交通負荷の抑制に配慮している。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)大久保病院新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目										
Q 建築物の環境品質										2.9
Q1 室内環境							0.40	-	-	3.0
1 音環境						2.9	0.15	2.6	1.00	2.8
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音				遮音性能等級T-3の建具を採用		3.8	0.40	3.2	0.40	
1 開口部遮音性能						5.0	0.40	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	1.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音						1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境						2.4	0.35	2.3	1.00	2.4
2.1 室温制御						2.7	0.50	2.5	0.50	
1 室温						3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能						2.0	0.25	2.0	0.43	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						3.1	0.25	3.3	1.00	3.2
3.1 昼光利用						3.6	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率				共用部:2.0%以上2.5未満、病室:1.25%以上		4.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御						3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度						3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御						3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境						3.9	0.25	3.6	1.00	3.8
4.1 発生源対策						4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質				JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.30	3.0	0.38	
1 換気量				共用部:基準法の1.4倍以上、病室:1.4倍以上		5.0	0.50	5.0	0.33	
2 自然換気性能						-	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理						5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						-	-	-	-	
2 喫煙の制御				全館禁煙にて計画		5.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.1
1 機能性						2.7	0.40	3.8	1.00	2.8
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性				個室10㎡/床以上、多床室8㎡/床以上		-	-	5.0	1.00	
2 高度情報通信設備対応						-	-	-	-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観						-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						-	-	-	-	
3 内装計画						1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理						4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				清掃しやすい内装材、水切を設置し維持管理に配慮、風除室扉どうしが同時感知しない様十分な距離を確保		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				清掃用具保管庫・専用流しなど維持管理に適切な設備を設置、天井点検口600*600		4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				給水管VLP(B)、給湯管SUS(C)、汚水・雑排水管VP(B)、Eは不採用		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備				非常用発電設備、電源設備等の地下空間への設置を回避、電源車接続時に利用可能な配線を設置		4.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				耐震クラスS		5.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.6	0.30	3.2	1.00	3.5
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	3.4	0.50	
1	階高のゆとり	共用部: 階高3.9m以上	5.0	0.60	3.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	共用部・病室: 壁長さ比率0.1以上0.3未満	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	ケーブルラックにより仕上材を痛めずに更新・修繕	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	ケーブルラックにより仕上材を痛めずに更新・修繕	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.2
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.1
1	建物外皮の熱負荷抑制	[BPIm] = 0.63	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.83	2.8	0.50	-	-	2.8
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	自動水栓に加えて、節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.7	0.60	-	-	3.7
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	舗装用ブロック: 舗装、ボード: 内装材、断熱材: 屋根断熱材	5.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	PSIにより設備との錯綜を回避、可動間仕切りを採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡断熱材はノンフロン製品を採用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐輪場、駐車場及び管理用車両の駐車施設を確保	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの項目の過半を満たし、広告物照明を行っていない	5.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)大久保病院新築工事	BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	---------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.5	+	2.6	=	6.1	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上		すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.5
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.5
<配慮した内容を記述> LCCO2排出量を参照値より抑制している。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述> 空地率を大きくし、また、中高木を植栽することにより敷地内温熱環境の向上に努めている。			

: 入力欄